

ひろしま版ネウボラの取組状況について

1 要旨・目的

子育てに関する不安や負担を軽減し、子供を希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備に向けて、子供と家庭に関する切れ目ない支援の仕組みである「ひろしま版ネウボラ」の構築に向けた取組を進めており、今年度の取組状況等を報告する。

2 現状・背景

年度	これまでの経緯・取組内容
H29年度～	モデル市町での取組を開始
R元年度	モデル市町での取組を踏まえ「ひろしま版ネウボラ」基本型を整理
R2年度	基本型で定める取組の定義を明確化 基本型のうち「完全な全数把握」「関係機関連携」を重点的取組に決定

- 現在、「ひろしま版ネウボラ」の取組は県内13市町において実施されており、令和11年度までに全市町で実施されることを目指している。
- 「ひろしま版ネウボラ」の全県展開にあたっては、その理念や機能を市町や県民に浸透させるとともに、取組の評価検証を実施し、市町における取組の改善・強化につなげる必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県内市町、県民（主に就学前の子供を育てる保護者）

(2) 取組内容（R3年度の主な取組）

ア 「ひろしま版ネウボラ」の理念の再整理

「ひろしま版ネウボラ」に携わるすべての人が思い描くゴール（目的）を明確にし、事業を進める上での価値基準としてもらうとともに、県民への認知促進を図るため、市町及び県民意見を反映した「理念」の再整理を行った。

【旧】理念	担当相談員による、すべての子育て家庭との傾聴・対話を基本とした丁寧な面談により、信頼関係を構築しながら、不安や課題を利用者とともに早期に解決するなど予防的な支援を行い、子育て家庭の安心感を醸成すること。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

↓

【新】理念	広島で生まれ、育つすべての子供たちの健やかな育ちに向けて、広島で子育てをするすべての人が、地域とのつながりを感じ、『あたたかく見守られている』と心から実感できる社会を実現する。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------

再整理のポイント

【目的の明確化】	子育てをする人への支援を通じ、「子供の健やかな育ち」を地域社会全体で育てていくことが、「ひろしま版ネウボラ」の施策目的（ゴール）であることを明記。
【価値の明確化】	ひろしま版ネウボラが県民に届ける「安心感」とは、広島で子育てをするすべての人が、孤立を感じることなく、地域との緩やかなつながりの中で子育てをすることができていることによってもたらされるものであることを明記。
【市町・県民意見等の反映】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全市町に対してヒアリングを実施した上で意見反映 ・ 子育て支援センター等でのアンケート及び県民インタビューを実施

イ 「ひろしま版ネウボラ」の評価検証

「ひろしま版ネウボラ」の取組が「子育てに対する安心感の醸成」につながっているかを検証し、市町における取組の改善・強化につなげるため、今年度から重点的に取り組んでいる取組毎に指標を設定し、市町からデータを取集し、モニタリングを行っている。(下記(5)参照)

(3) スケジュール

—

(4) 予算(単県)

74,031千円

(5) 事業効果・検証結果の主なもの(第二四半期まで)

ア 完全な全数把握(アプローチ率100%)の実施

【指標】面談対象者のうち、状況を把握することができた人数の割合

コンタクトタイミング	第1四半期		第二四半期	
	全数把握率	(参考) 自主的に面談に来た割合	全数把握率	(参考) 自主的に面談に来た割合
母子手帳交付	99.9%	99.8%	99.9%	99.5%
乳児家庭全戸訪問	100%	93.1%	97.0%	93.9%
乳児前期健診(4か月頃)	100%	89.2%	95.9%	88.1%
1歳6か月児健診	97.5%	88.9%	91.4%	84.3%
3歳児健診	93.2%	83.8%	93.0%	88.7%

【結果】第一四半期の3つのコンタクトタイミングについてほぼ100%の子育て家庭の状況を把握。その他のコンタクトタイミングについては、今後、上昇見込み。

イ 関係機関との連携

【指標】定期面談時にリスク有となった家庭のうち事前に関係機関から情報提供を受けていた家庭の割合

第1・2四半期	市町平均	15.8%
---------	------	-------

【結果】関係機関連携が機能している市町の取組を横展開するなどにより、今後この数値が上昇するよう取り組む。

ウ 担当者明示～担当者による継続した面談

【指標】自身の担当者を認識している者の割合

第1・2四半期	三次市・海田町の平均	62.0%
	その他の市町の平均	42.0%

【結果】同じ担当者が継続して面談している三次市・海田町では、他の市町より担当者を認識している割合が高い。

(6) 今後の対応

- 県担当者による伴走型支援や人材育成研修等を通じて、市町のネウボラ相談員と「ひろしま版ネウボラ」の理念を共有し、取組の質の向上・安定を図っていく。
- 「ひろしま版ネウボラ」基本型の更なる改善・強化に向け、ネウボラ実施市町の協力のもと、引き続き評価検証を行っていく。
- 全県展開に向け、「ひろしま版ネウボラ」の取組の成果を見える化した上で、未実施の市町に対して対話と伴走型支援を行っていく。